

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)		*	*	*
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・弁当や総菜と一緒にデザート類を1～2品買う男性客が最近増えてきている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新商品の発売や消費税増税前の駆け込み需要により月後半は販売量が増え、前年並みの結果となっている。
		スーパー（販売企画）	来客数の動き	・競合店の新規出店から1年経過したことや、前年は台風の影響で1.5日程休業もあったことから、客数が前年を若干上回っている。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・高価格帯のハイブランドの受注が好調を維持している。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・このところ、毎月の客室稼働率は前年実績を下回っており、3か月前と同様の状況が続いている。なかなか前年実績を上回ることがない状況が続いている。
		旅行代理店（マネージャー）	お客様の様子	・国内外の高額商品は売れないが、県内宿泊プランなどは前年と比べても好調である。しかし結局は薄利多売のような図式である。
		住宅販売会社（代表取締役）	販売量の動き	・個人住宅、投資物件の建築相談や土地活用などの相談件数も順調に推移している。
		百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・台風与件や前年の有名アーティストCD販売の反動減、免税売上ダウン等があり、消費税増税前の駆け込み需要も期待したが反応は薄く、厳しい商況となっている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・季節が変わったこと、韓国からの観光客数の減少で周辺の景気が衰退していること、また9月後半からは表通りに修学旅行生が増え始め、一般客が減少している感じがあることが影響している。台風などで天候が不安定だったことも原因とみている。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・国内の自然災害や、韓国情勢を受けて来客者が減少している。
		住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・住宅展示場への来場組数が前月比15%減と、4か月連続で減少している。同様に、前年同月比でも27%減である。
		x	商店街（代表者）	競争相手の様子
	x	その他飲食[居酒屋]（経営者）	来客数の動き	・消費税増税前のせいや、地元客の引きが早い。また、韓国人観光客の入店がかなり減っている。
	x	観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・韓国人観光客の減少、3つの台風によるキャンセルのため、売上が大幅に減少している。
企業 動向 関連 (沖縄)		-	-	-
		輸送業（経営企画室）	取引先の様子	・約50社ほどで行っている人材育成研修で、消費税増税の関係から受注が一時的に増えているとの話を聞いている。主に業務用の食材の一括での手配等がある。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事向けの出荷は前年比減で、民間工事向けは前年比増となり、全体で前年比横ばいとなっている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新築住宅の契約が、全く低迷したままである。
		x	-	-
雇用 関連 (沖縄)		-	-	-
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・今まで1件の求人に対して募集人数が平均1.8人だったが、ここ2～3か月は1件の求人に対して平均2人の募集となっており、採用活動が更に活発化している傾向にある。
		学校[専門学校]（就職担当）	周辺企業の様子	・早くも2021年卒対象の就職イベントが走り出している。企業側も今年度の採用活動から次年度の採用活動にシフトチェンジをしている様子がみ取れる。
		人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・求職者からの問合せが減少している。
	求人情報誌製作会社（編集室）	求人数の動き	・6月と比較すると毎年9月の求人件数は同程度の件数で推移するが、今回は週平均で90件減少している。	

	学校 [大学] (就職支援担 当)	採用者数の動き	・ 時期的に採用活動を終了する企業が増えている。
x	-	-	-